

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-522567(P2008-522567A)

【公表日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2008-025

【出願番号】特願2007-541922(P2007-541922)

【国際特許分類】

H 02 P 29/00 (2006.01)

【F I】

H 02 P 5/00 U

H 02 P 5/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月4日(2008.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに通信すべき少なくとも2つの自動化構成要素を有する自動化構成要素において、少なくとも2つの自動化構成要素が近距離無線通信によって0～20cmの距離にわたって通信し、少なくとも2つの自動化構成要素のうち第1の構成要素が自動化構成要素のエンジニアリングシステムであり、少なくとも2つの自動化構成要素のうち第2の構成要素がRFトランスポンダを装備しており、第1と第2の自動化構成要素の間に空間的近接を形成する際にデータが第2の自動化構成要素から第1の自動化構成要素へ伝達され、該データがRFトランスポンダに記憶され、該データは最大許容回転数、極数、許容電流および個数など重要な基礎的情報の少なくとも一つのデータを包含することを特徴とする自動化構成要素。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この課題は請求項1に記載の自動化構成要素によって解決される。